

拓け！

【校長室だより】No.2

平成29年5月18日



学校長

もうすぐ大運動会

先日の総合練習では、たくさんの保護者の皆さんの参観をいただき、ありがとうございました。

風が少し冷たく感じられるような天候でしたが、子どもたちの元気な声が運動場に響き渡りました。限られた時間の中で練習を重ねてきた成果が見られました。1～3年生はどの競技をとっても動きが可愛らしく、一生懸命さが伝わりましたし、4年生は、上級生の仲間入りをしたという自覚が感じられる立派な態度で臨むことができていました。さらに、5、6年生は各競技、応援合戦、係りの仕事など、運動会全体のリズムと雰囲気を作り出す大事な役目を果たしてくれました。中でも、6年生は、全てにおいて【全力疾走】。小学校生活最後という言葉をかみしめながら、行動していたように感じます。最上級生としての自覚、それを行動でしっかりと示してくれました。頼もしい限りです。

日曜日まで練習期間はわずかですが、総合練習を踏まえ、改善すべき点はし、思い出に残る大運動会を自分たちの手で作り上げていってほしいと思います。子どもたちの頑張りがいけるよう、当日の晴天を願いつつ、教職員一同、張り切っていきたいと思います。

日曜日は子どもたちの頑張りにはたくさんの声援をよろしくお願いします。

最後の最後まで全力！5/18の練習の様子です。



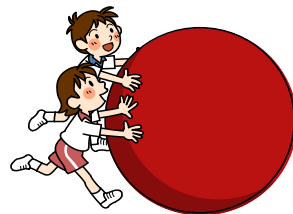
最後の応援練習
赤も白も気合いが入っています！



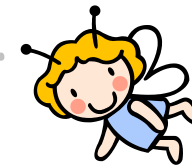
3年生のチャレンジ
競技の練習風景。
皆、真剣です。



応援練習場所の交代。
だまって素早く移動しています。



特集：道徳教育って



今年度の道徳参観日は
6月9日（金）です。

昨年度の道徳参観日には、172世帯中139世帯の保護者の皆さんの参観をいただきました。

お忙しい中にも関わらず、80.8%の参加率でした。ありがとうございました。今年度も各学級担任が計画を立て、子どもたちの心にひびく道徳の授業を準備しています。多くの保護者の皆さんの参観をお待ちしています。

今月は学校の「道徳」ってどんなことを勉強するのか、少し触れてみたいと思います。学校で行う道徳教育では、子どもたちが人間としての在り方を自覚し、よりよく生きていくための基盤となる【道徳性】を育てることをねらいとしています。週に1回の【道徳の時間】を中心として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を行います。

【道徳の時間】では、読み物や映像などの資料を活用して授業を進めていきます。授業で活用するそれぞれの資料には、「相手のことを思いやり、親切にしよう」「約束や社会のきまりを守ろう」などのねらいがあります。子どもたちは、資料に登場する人物の気持ちなどを考え、お互いに話しあうことを通して、自分はどのように生きればよいのかを学んでいきます。

また、【道徳の時間】には、子どもたちが自由に語るすることができます。時には、「悪いことだと分かっているけど、友達に仲間はずれにされるのがこわいから一緒にやってしまう。」という考えを発表する子どもがいます。一方、「いくら仲のよい友達に誘われても悪いことは絶対にやらない。」という子どももいます。道徳の時間では、こうした素直な気持ちをお互いに出し合って自分の考えを深めながら、これからの生き方に生かしていきます。

子どもはいろいろな経験から学びますし、学んだことや教えられたことを生活に生かすこともできます。

私たち大人がまず範を示し、子どもたちの未来を明るく照らすことができるように努力したいと思います。

家庭の力は心のエネルギー

＝家庭で取り組む高知の道徳＝ 高知県教育委員会 から

家庭で
行う
7つの
取り組み

- ① 毎日きちんとあいさつをしよう
- ② 家族と会話をしよう
- ③ 家族の一員として役割をもとう
- ④ 子どもにがまんを教えよう
- ⑤ 体験の中で子どもをきたえよう
- ⑥ 先人や目上の人を敬う心を育てよう
- ⑦ 人に迷惑をかけたときはきちんと叱ろう

